

個人質問

議会事務局 処理欄	令和6年 5月 7日 14時10分 受付
	質問 順位 第5番

武豊町議会議長 青木 信哉 殿

武豊町議会議員 福本 貴久

一般質問の通告について

令和6年第2回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
<p>1. 将来に向け持続可能、かつ発展する武豊町を目指すために</p>	<p>【趣旨説明】 現在の安定した町政を維持し、今の責任世代から将来の孫子の世代へと、武豊町をバトンタッチするためには、健全な財政運営と持続可能な行政施策の展開が重要である。町の財政は、財源や税収が増加することが期待されるような打ち出の小槌ではない。限られた財源の中でバランスを保ちながら、幅広い年代に公平な政策を実施するとともに、事業によっては継続性を確保する必要がある。一方、財政の健全化を図るためには、安定した財源の確保は必須であり、歳出の見直しはもちろんのこと、国や県からの補助金なども最大限活用し、あらゆる手段で財源を確保する必要がある。</p> <p>また、地域の発展も不可欠であり、靱山町長が提唱している「20年、30年先を見据えた政策」の展開が重要で、財源確保と並行して、住環境整備や生涯学習、健康福祉、産業発展、企業誘致、環境保全、地域コミュニティの発展など、武豊町の魅力が持続するためには、どの分野にもバランスを取りながら、進める必要がある。そして、幅広い年代層に対応するためには、きめ細やかなニーズの把握も欠かすことができない。さらに、若者世代が住み続けるために、保育・教育環境の整備や子育て支援策の強化など、子育て世代が安心して暮らすことのできる環境づくりも重要である。加えて、武豊町の魅力を高め、地域の活性化につなげるために、伝統文化や芸術活動を活かしたプロモーションや事業の積極的な推進も必要である。さらには、武豊町が国や県と協力してプロジェクトを推進し、国や県の事業誘致に取り組むことも本町の魅力の拡大にもつながる。</p> <p>そこで以下、質問をする。</p> <p>【質問事項】</p> <p>①今後の財政運営において、限られた財源の中で公平、かつ持続可能な政策を実施するためには、どのような施策を計画しているか。</p> <p>②地域の発展を促進するためには、20年、30年先を見据えた政策展開も必要となるが、どのように中長期の施策を計画しているか。</p> <p>③住環境整備や生涯学習、健康福祉、産業発展、企業誘致、環境保全、地域コミュニティの発展、子育て支援など、各分野における取り組みや計画は。</p> <p>④各事業を実施するにあたり、町民の意見やニーズは、どのように反映されているのか。</p> <p>⑤地域の魅力や活性化を図るために、伝統文化や芸術活動を活かしたプロモーションや事業の推進に関して、どのような取り組みをしていくのか。</p> <p>⑥武豊町が国や県と協力してプロジェクトを推進し、事業誘致にも取り組むことも必要だと考えるが、見解を伺う。</p>